

## (6) 「高強度鋼溶接部の SSC」 座長 辻川 茂男 (東大) 副座長 小川 洋之 (新日鉄)

SSC は H<sub>2</sub>S 環境で発生する水素脆性型の割れであるが、最近、高 pH 環境であるアミン脱硫塔溶接部の割れ、ラインパイプ実管試験における溶接部近傍の SOHC 起因の SSC のような新たな事例が報告されている。国内外においてそれらの事例に対応する研究が行われているので、最近の知見について総括/討論する機会を設定したいと思います。関係各位の多数の講演、討論を期待します。なお、対象とする範囲は、ラインパイプ、高圧反応塔（アミン脱硫塔等）等を使用される高強度鋼の溶接部における SSC に関連する組織、発生機構、評価法、および割れの実例解析等にいたします。

2. 申込締切日 平成 4 年 10 月 15 日 (木)
3. 申込方法 討論会参加ご希望の方は討論会申込書を下記までご請求下さい。  
申込書には必要事項ならびに申込書裏面に 400 字程度の講演要旨をお書きのうえ、講演者の本年度の会員証の写しと講演大会講演申込受理通知はがきを添えてお申し込み下さい。
4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出の講演要旨により座長・副座長の審査のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。
5. 講演原稿締切日 平成 4 年 12 月 10 日 (木)  
討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙 4 枚以内（表、図、写真を含む）にワープロあるいはタイプ印書を原則とし、直接印字もしくは貼付した原稿を作成して下さい。
6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」（平成 5 年 3 月号）にて発表いたします。
7. 講演内容の発表 「材料とプロセス」（日本鉄鋼協会講演論文集）Vol. 6 No. 1, 2, 3 に講演内容を掲載いたします。
8. 問合せ・申込先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
日本鉄鋼協会 編集・業務室 講演大会 討論会係 TEL 03-3279-6021(代)

## ////////// 原稿募集

////////// 「鉄と鋼」特集号

## 鉄鋼業における最近のセンサー技術

原稿締切日 平成 4 年 11 月 6 日 (金) 締切日厳守  
締切日以降の投稿原稿は受け付けませんのでご注意下さい

平成 5 年 7 月（第 79 年第 7 号）に上記特集号を企画しております。最近の鉄鋼製造プロセスにおいては、多種多様なセンサーが用いられています。古くは温度計測から、寸法・形状、非破壊検査などの分野や最近ではオンライン r 値センサーのような材質計測の分野にまでセンサーがオンラインで利用されています。さらに画像処理の機能も取り入れられています。本特集号ではこれら最新のセンサー技術を紹介し、鉄鋼の計測・制御技術の視点からこれらをとらえてインテリジェント化、複合化および無人化・自動化の今後の進展を展望したいと思います。論文、現場技術報告の両分野に多数御投稿下さいますことを期待しております。

1. 原稿締切日 平成 4 年 11 月 6 日 (金)
2. 発行 「鉄と鋼」 Vol. 79 No. 7 (平成 5 年 7 月号)
3. 原稿枚数 論文：刷り上がり（表、図、写真を含めて）7 ページ以内（18000 字以内）

＜平成 5 年 1 月号（Vol. 79 No. 1）より「鉄と鋼」が B5 判から A4 判に変わります＞

(注)・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。・投稿された論文は和文会誌分科会において審査されます。

## 4. 問合せ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階

(社)日本鉄鋼協会 編集・業務室 和文誌特集号係 (担当・松井、中村) 電話 03-3279-6021(代)

(注) 投稿時、原稿表紙に「計測制御特集号」と朱書して下さい。